

みずほCustomer Desk Report 2018/01/25 号(As of 2018/01/24)

国際為替部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	110.26
TKY 9:00AM	110.13	1.2308	135.56	1.4010	0.8004
SYD-NY High	110.33	1.2415	135.64	1.4266	0.8083
SYD-NY Low	108.97	1.2285	134.92	1.4000	0.7994
NY 5:00 PM	109.22	1.2409	135.52	1.4235	0.8062
NY DOW	26,252.12	41.31	日本2年債	-0.1400	0.00bp
NASDAQ	7,415.06	▲ 45.23	日本10年債	0.0700	0.00bp
S&P	2,837.54	▲ 1.59	米国2年債	2.0781	3.98bp
日経平均	23,940.78	▲ 183.37	米国5年債	2.4369	2.23bp
TOPIX	1,901.23	▲ 9.84	米国10年債	2.6475	3.16bp
シカゴ日経先物	23,780	▲255.00	独10年債	0.5840	2.50bp
ロンドンFT	7,643.43	▲88.40	英10年債	1.4060	5.40bp
DAX	13,414.74	▲144.86	豪10年債	2.7880	▲4.55bp
ハンセン指数	32,958.69	27.99	USDJPY 1M Vol	7.99	0.76%
上海総合	3,559.47	12.96	USDJPY 3M Vol	8.06	0.46%
NY金	1,356.30	19.60	USDJPY 6M Vol	8.24	0.29%
WTI	65.61	1.14	USDJPY 1M 25RR	-1.08	Yen Call Over
CRB指数	199.51	2.57	EURJPY 3M Vol	8.36	0.27%
ドルインデックス	89.18	▲ 0.95	EURJPY 6M Vol	8.50	0.20%

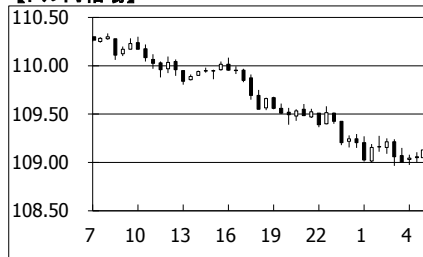
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
1月24日	8:50	日 貿易収支	12月 ¥359.0b	¥535.0b
	18:00	欧 マークイット製造業PMI・速報値	1月 59.6	60.3
	18:50	英 ILO失業率	11月 4.3%	4.3%
	23:45	米 マークイット製造業PMI・速報値	1月 55.5	55.0
1月25日	0:00	米 中古住宅販売件数	12月 5.57m	5.70m

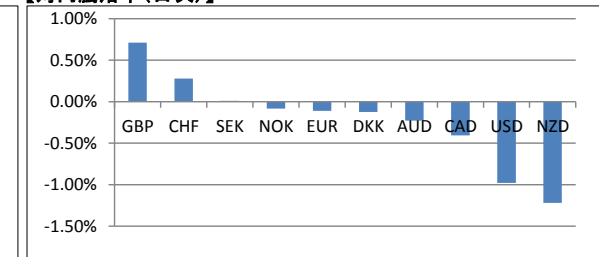
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
1月25日	8:50	日 対内・対外証券投資	-	-
	16:00	独 GfK消費者信頼感	2月 10.8	10.8
	18:00	独 IFO指数(企業景況感/期待/現況)	1月 117.0/109.3/125.3	117.2/109.5/125.4
	21:45	欧 ECB理事会(主要政策金利/限界貸付金利/預金ファシリティ金利)	- 0.00%/0.25%/-0.40%	0.00%/0.25%/-0.40%
	22:30	欧 ドラギECB総裁 記者会見	-	-
	22:30	米 新規失業保険申請件数	- 235k	220k
1月26日	0:00	米 新築住宅販売件数	12月 675k	733k

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	108.00-109.50	1.2350-1.2500	134.80-136.00

【マーケット・インプレッション】

昨日海外時間のドル円は続落。東京時間に110円を割れ、昨年9月以来の安値圏へと下落する展開となったドル円相場は海外時間に入ってからドル安円高の流れが継続。欧州時間には米ムニューシン財務長官がドル安を容認する発言との報道も、全般にドル売りを加速させ、米国時間には一時109円を割れる展開に。本日のドル円も引き続き、上値の重い展開が継続するものと思われる。前日の米財務長官の発言もあり、米政府もドル安を容認するとの思惑が強まる中、一段とドル安が進む方向感にベットしやすい地合が継続しており、ドル円相場も下方向への警戒が必要となろう。

東京	東京時間のドル円は110.13レベルでオープンすると、仲値にかけては小確りと推移。しかし前日に米政権が輸入制限発動に踏み切ったことで、保護主義的姿勢に対する警戒感が強まったこと等を背景に、次第にドル売りが優勢となると、ドル円は110円を割り込んだ。午後になると日経平均株価が下げを強めるにつれ、ドル円も109.81まで下げ幅を拡大。やや買い戻され、109.95レベルで海外市場へ渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、109.95レベルでオープン。ダボス会議でムニューシン米財務長官の「弱いドルは貿易面で米国の利益になる」とのドル安容認発言が出たことや、ロス商務長官の「貿易戦争に備えなければならない」との貿易関係リスクの高まりから、一時109.39まで売られ、109.51レベルでNYに渡った。ユーロドルは、1.2321レベルでオープン。ドラギECB総裁が、資産買い入れがユーロ相場に与える影響について、為替の変動は単に副作用であるとの見解を示すと、市場ではECBは現状のユーロの為替変動を危惧していないと解釈され、1.2356まで堅調に推移。1.2339レベルでNYに渡った。ポンドドルは、1.4039レベルでオープン。9-11月の英賞金(除くボーナス)が前年比+2.4%と、予想(+2.3%)を上回ったことから、この日も、英国民投票後の高値を更新。1.4161まで買われ、1.4150レベルでNYに渡った。
ニューヨーク	109.51レベルでNYオープン。ロス氏の「ムニューシン財務長官のドルの発言に対して過剰に反応しすぎている」と火消しと思われるコトを受けて109.58まで上昇。しかしその後発表された米12月中古住宅販売件数が予想を下回ったことや、寄り付き堅調に推移していた米株が上げ幅を縮小する展開に、ドル円は上値重く109.00まで下落。この水準では一旦下げ渋り、109.27まで反発。しかし、海外時間のムニューシン氏、ロス氏の発言が意識されドル売りが強まる中、一時108.97まで下落したが、108円台ではドル買い意欲もあり109.15まで値を戻した。その後は109.10付近での推移が続き109.22レベルでクローズした。なお、日中は「モラー特別捜査官のチーム、月内にパン氏を聴取へ」との報道が伝わった。一方ユーロドルは1.2339レベルでNYオープン。上述の要因などからドル売りが継続し、一時1.2415まで上昇、1.2409レベルでクローズした。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。

担当:伊藤・鶴田